

平成30年11月本庄市長定例記者会見 次第

日時：平成30年11月22日(木)

午後1時30分～

場所：特別会議室

議会情報

- (1) 本庄市議会第4回定例会会期予定・議案一覧 (資料1)
広報課 担当：鳥羽 ☎0495-25-1155

政策情報

- (2) 商業活性化「本庄まちゼミ」の取り組みについて (資料2)
商工観光課 担当：金井 ☎0495-25-1175

行政情報

- (3) 煉瓦倉庫のユネスコ文化遺産保全賞受賞について (資料3)
市民活動推進課 担当：田島 ☎0495-22-0828

- (4) 第12回塙保己一賞表彰式の開催について (資料4)
生涯学習課 担当：前川 ☎0495-72-8851

- (5) 第23回本庄早稲田の杜
クロスカントリー&ハーフマラソンの開催について (資料5)
体育課 担当：内田 ☎0495-25-1152

イベント・観光情報

- (6) 神迎祭の開催について (資料6)
商工観光課 担当：山口 ☎0495-25-1174

- (7) クリスマス・ディスプレイと
クリスマスマルシェの開催について (資料7)
農政課 担当：鈴木、阿部 ☎0495-25-1177

次回の定例記者会見は

日時：12月19日(水)午後1時30分

場所：本庄市役所 特別会議室 で予定しています。

平成30年本庄市議会第4回定例会会期予定表

自 11月27日 ～ 至 12月21日 ・ 25日間

区分	月日	曜日	開議	議事
第1日	11月27日	火曜日	午前10時	○ 開会 ○ 会議録署名議員の指名 ○ 会期の決定 ○ 諸報告 ○ 継続審査案件の決算特別委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 市長提出議案の上程 ○ 議案に対する提案理由の説明 ○ 議案に対する議案内容の説明
第2日	11月28日	水曜日	午前10時	○ 請願の常任委員会付託 ○ 議案に対する質疑・一部議案の即決 ○ 議案の常任委員会付託
第3日	11月29日	木曜日		○ 休会
第4日	11月30日	金曜日		○ 休会 (常任委員会) 総務委員会 (常任委員会) 厚生文教委員会
第5日	12月1日	土曜日		○ 休会 (土曜休会)
第6日	12月2日	日曜日		○ 休会 (日曜休会)
第7日	12月3日	月曜日		○ 休会 (常任委員会) 建設産業委員会
第8日	12月4日	火曜日		○ 休会
第9日	12月5日	水曜日		○ 休会 (特別委員会) 17号バイパス及び幹線道路整備 対策特別委員会
第10日	12月6日	木曜日		○ 休会
第11日	12月7日	金曜日		○ 休会
第12日	12月8日	土曜日		○ 休会 (土曜休会)
第13日	12月9日	日曜日		○ 休会 (日曜休会)
第14日	12月10日	月曜日		○ 休会
第15日	12月11日	火曜日		○ 休会
第16日	12月12日	水曜日		○ 休会
第17日	12月13日	木曜日		○ 休会
第18日	12月14日	金曜日		○ 休会
第19日	12月15日	土曜日		○ 休会 (土曜休会)
第20日	12月16日	日曜日		○ 休会 (日曜休会)
第21日	12月17日	月曜日	午前9時30分	○ 一般質問
第22日	12月18日	火曜日	午前9時30分	○ 一般質問
第23日	12月19日	水曜日	午前9時30分	○ 一般質問
第24日	12月20日	木曜日		○ 休会
第25日	12月21日	金曜日	午前10時	○ 請願の常任委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 特別委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 各常任委員長報告・質疑・討論・採決 ○ 閉会

※ 一般質問(会派代表)は、公明党、市議団未来、自由民主党本庄クラブ、市議団 大地、の順に行います。

※ 一般質問通告書は、会期第3日の11月29日(木)正午までに提出してください。

※ 本会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

平成 3 0 年 第 4 回 定 例 会 議 案 一 覧

市長提出議案

(平成 3 0 年 1 1 月 2 7 日 提 出 1 8 件)

議案番号	件 名	提案理由・要旨
第83号議案	本庄市障害者施策推進協議会条例	障害者基本法第 3 6 条第 4 項の規定に基づき、本庄市障害者施策推進協議会を設置したいので、この案を提出するものである。
第84号議案	本庄市部設置条例の一部を改正する条例	地方自治法第 1 5 8 条第 1 項の規定による市長の権限に属する内部組織の分掌する事務を見直したいので、この案を提出するものである。
第85号議案	本庄市手数料条例の一部を改正する条例	建築基準法の一部改正に伴い、建築物の敷地と道路との関係の建築認定申請に係る手数料を徴収等したいので、この案を提出するものである。
第86号議案	本庄市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	ひとり親家庭等の医療費及び子ども医療費の支給に関する事務について、個人番号を利用したいので、この案を提出するものである。
第87号議案	本庄市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条例の 一部を改正する条例	投票所の投票立会人の報酬額等を改定したいので、この案を提出するものである。
第88号議案	本庄市一般職職員の給与に関する条 例の一部を改正する条例	総合支所長の職務の級を変更したいので、この案を提出するものである。
第89号議案	本庄市障害福祉センターの設置及び 管理に関する条例の一部を改正する 条例	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴い、所要の改正をしたいので、この案を提出するものである。
第90号議案	本庄市保育所設置及び管理に関する 条例の一部を改正する条例	本庄市立金屋保育所を廃止することに伴い、所要の改正をしたいので、この案を提出するものである。
第91号議案	本庄市の議会の議員又は長の選挙に おける選挙運動用自動車の使用等の 公営に関する条例の一部を改正する 条例	公職選挙法の一部改正を踏まえ、市の議会の議員の選挙における選挙運動用ビラの作成を公営としたいので、この案を提出するものである。
第92号議案	指定管理者の指定について	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の管理に関し、NPO法人地域環境緑創造交流協会を指定管理者として指定したいので、地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 6 項の規定により、この案を提出するものである。
第93号議案	指定管理者の指定について	本庄市ふれあいの里いずみ亭の管理に関し、ふれあいの里本泉を指定管理者として指定したいので、地方自治法第 2 4 4 条の 2 第 6 項の規定により、この案を提出するものである。
第94号議案	本庄市教育委員会委員の任命につき 同意を求めることについて	教育委員会委員 落合 崇志 氏が平成 3 1 年 2 月 1 7 日をもって任期満了となるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 4 条第 2 項の規定により本庄市教育委員会委員として 落合 崇志 氏を任命したいので、この案を提出するものである。
第95号議案	平成 3 0 年度本庄市一般会計補正予 算 (第 3 号)	補正予算額 4 4, 6 2 1, 0 0 0 円 総額 2 6, 9 7 6, 6 5 4, 0 0 0 円 繰越明許費の補正 債務負担行為の補正

第96号議案	平成30年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	債務負担行為
第97号議案	平成30年度本庄市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	債務負担行為の補正
第98号議案	平成30年度本庄市介護保険特別会計補正予算(第2号)	補正予算額 7,530,000円 総額 5,866,981,000円 債務負担行為
第99号議案	平成30年度本庄市水道事業会計補正予算(第2号)	債務負担行為
第100号議案	平成30年度本庄市下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的支出補正予定額 62,000円 総額 1,565,061,000円 債務負担行為 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

商業活性化「本庄まちゼミ」の取り組みについて

商業の活性化を目的とする「本庄まちゼミ」の取り組みが、市内の商店主を中心とした実行委員会によって、現在行われております。

この取り組みは、これまでの「街に人を呼ぶ」こととは別に「個店に人を呼ぶ」ことに視点を置き、商店主がそれぞれの得意分野を題材として、自分の店に「ゼミ」と称するコミュニケーションの場を設けることで、人と人との繋がりを売り上げに繋げようとする試みで「本庄まちゼミ」と呼んでいます。

まちゼミには、美容、健康、飲食、物販、サービス、金融、と様々なお店29店舗が参加します。

市では、商業活性化の取り組みの一つとして、9月から開始されたこの活動を商工会議所と共に支援しています。

今回は、まちゼミに向け、参加商店主が学ぶ「直前説明会」を開催します。

講師には、「まちゼミ」発祥の地である愛知県岡崎市で様々なまちづくり施策に取り組んでいる松井洋一郎氏を招き、本庄まちゼミに参加する商店主が行う「ゼミ」の内容にご指導いただきます。

各商店主の取り組みを知る機会でもありますので、ぜひ取材をお願いいたします。

■「本庄まちゼミ」参加店舗への直前説明会

【昼の部】 日時：平成30年12月14日（金）15:00～16:30

場所：本庄市役所 5階 504会議室

【夜の部】 日時：平成30年12月14日（金）19:00～21:00

場所：はにぼんプラザ2階 活動室E

講師 岡崎まちゼミの会 代表 松井洋一郎 氏

■「本庄まちゼミ」の開催

日程 平成31年2月1日（金）から2月28日（木）

※ 詳細は、後日お知らせいたします。

○添付資料

(1) 「本庄まちゼミ」実施経緯

(2) 講師プロフィール

問合せ先

○本件記事に関すること 経済環境部 商工観光課 商工労政係 担当：金井

電話 0495(25)1175

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽

電話 0495(25)1155

【「本庄まちゼミ」実施経緯】

○主催：本庄まちゼミ実行委員会

本庄まちゼミ実行委員会は、NEXT商店街プロジェクトのメンバーを中心に商業者などで構成され、参加者が主体的に取り組む組織で、委員長をはじめ、デザイナー、広報、会計、店舗管理などの仕事を分担して運営しています。

今回の「本庄まちゼミ」実施にあたり、参加商店主への呼びかけも実行委員が足を運び説明することで実施へ繋がりました。

○実施スケジュール

日 程	項 目	内 容
9月12日	まちゼミ実行委員会	立ち上げ
9月15日	勉強会	講師：松井洋一郎 氏
10月	参加商店主募集	締切：10月31日
11月14日	勉強会	講師：松井洋一郎 氏
12月14日	直前説明会	講師：松井洋一郎 氏
1月11日から	講座申込受付	各ゼミへの申込受付開始
2月1日から 28日まで	開催	本庄まちゼミの開催
3月21日	結果発表会	事業の振り返りと今後へ向けての評価検証

○参加店舗：29店舗

○勉強会（9月15日（土））

講師を招き、参加商店主へ「まちゼミ」についての説明を行いました。

○勉強会（11月14日（水））

参加店舗の講座内容やタイトル作成について、講師からのアドバイスを受けました。

○直前説明会（12月14日（金））

直前説明会では、ゼミの効果アップ法、店主の不安解消など、店主と顧客とが楽しい時間を過ごし、信頼関係を築くためのコミュニケーション術のヒントを教えていただき、2月の本番に臨みます。

■「まちゼミ」の取り組み

まちゼミとは、中心市街地の商店主が講師となり、プロならではの専門的な知識や情報、コツを無料で受講者（お客様）に伝える「得する街のゼミナール」の略です。

コミュニケーションを通して、お客様にお店の存在や商品の特徴を知っていただくと共に、店主やスタッフと顧客との信頼関係を築くことを目的とする事業です。

■NEXT商店街プロジェクト

NEXT商店街プロジェクトとは、今年度から埼玉県が取り組んでいる施策で、意欲の高い商店街に対して、外部専門家による伴走型の集中支援を行い、次世代商店街のモデル「NEXT商店街」の実現を目指す事業です。

（指定地域）

8地域（熊谷市、所沢市、本庄市、深谷市、越谷市、蕨市、ふじみ野市、寄居町）

<講師プロフィール>

松井洋一郎(まついよういちろう) 氏



昭和 43 年 愛知県岡崎市生まれ

内閣府 地域活性化伝道師

経済産業省 タウンプロデューサー

全国タウンマネージャー協会 副会長

(株)みどりや 専務取締役

岡崎まちゼミの会 代表

(株)まちづくり岡崎 代表取締役

専門学校卒業後、OA機器販売会社にて5年間勤務。その後、家業である化粧品専門店(株)みどりや入社。中心市街地・商店街活性化事業、得する街のゼミナール“まちゼミ”を中心に岡崎にて様々なまちづくり施策に取り組んでおり。また内閣府地域活性化伝道師、経済産業省タウンプロデューサーとして全国各地の中心市街地・商店街活性化のアドバイザーとして活性化に関わっている。

2012年3月には岡崎市の中心市街地活性化を目指した(株)まちづくり岡崎を設立し、代表取締役を務め現在に至る。

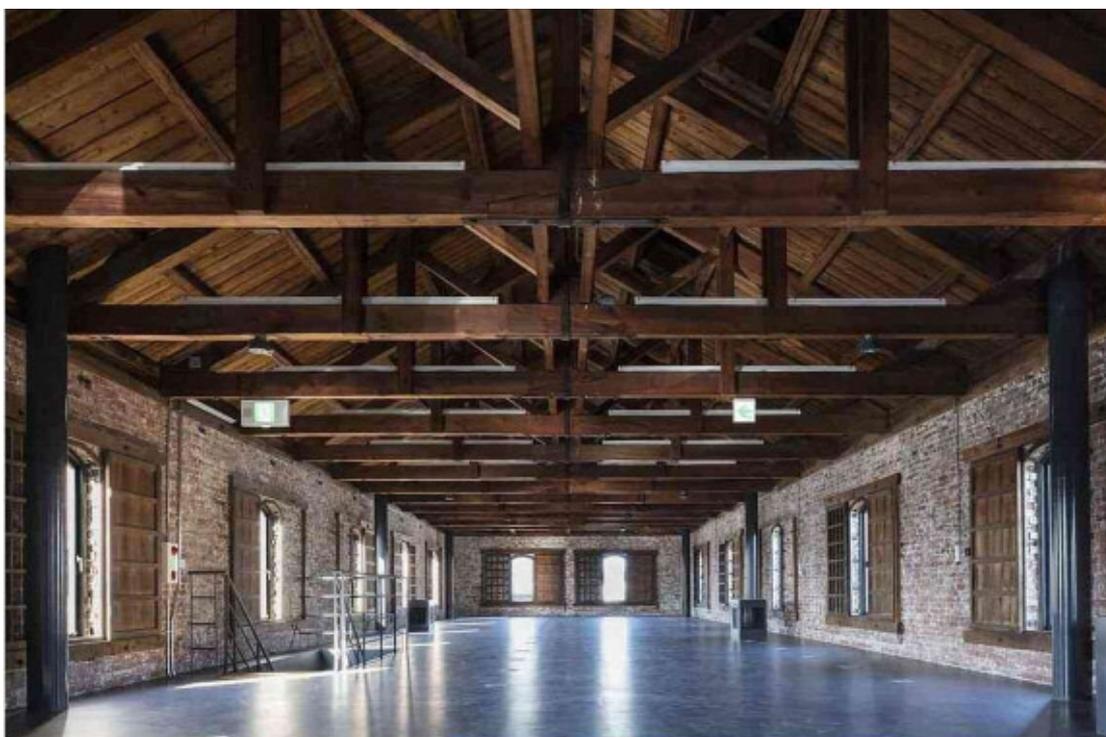
<まちゼミ イメージ図>



煉瓦倉庫がユネスコの文化遺産保全賞を受賞しました

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保存事業がユネスコアジア環太平洋文化遺産保全賞（功績賞）を受賞しました。

この賞は、民間部門及び官民共同の取り組みによる、アジア太平洋地域における遺産としての価値を持つ建造物、場所及び資産の保全又は修復の優れた成果について表彰するもので、このたび旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保全・活用の取り組みが評価され受賞となりました。



撮影：小川重雄

○添付資料 2部

- (1) ユネスコプレスリリース（原文）
- (2) 概要説明

問合せ先

- 本件記事に関すること 市民生活部 市民活動推進課 施設運営係 担当：田島
電話 0495（22）0828
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽
電話 0495（25）1155

【賞の概要】

ユネスコアジア環太平洋文化遺産保全賞(2018 UNESCO Asia-Pacific Awards for Cultural Heritage Conservation)は、世界遺産の登録も行っている国際機関であるユネスコのバンコク支部が主催している賞です。

この賞は2000年から続いており、アジア各国の地域の歴史的建造物のうち、建築後50年以上経過し、過去10年以内に行われた保存事業が対象となっています。

作品は、立地背景の配慮、技術面での業績、再生方法の適確性、周辺環境への貢献度合い、地域社会への文化的・歴史的持続性などの評価基準に基づき総合的に評価されます。

今年は、8カ国から41のプロジェクトの応募があり、マレーシアのペナンでプロジェクトの審査が行われ、最優秀賞1点、優秀賞1点、功績賞3点、奨励賞3点、新デザイン賞2点が受賞となりました。

【功績賞 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫】

※プレスリリースの翻訳

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の保存は、建物の耐震補強と設備の現代化を通じて本庄市のランドマークである重要な煉瓦造建造物を再生し、公共施設としてリニューアルオープンさせました。

このプロジェクトの評価すべき点は、徹底的な研究に基づいた体系的な保存の方法論にあります。かつて繁栄した絹産業に関連する建物に新しい命を与えているこのプロジェクトは、地域産業と商業遺産を解釈するための事例として注目されています。

【応募者の状況】

代表者 福島加津也 福島加津也＋富永祥子建築設計事務所・代表

所有者 本庄市

設計者 改修設計 福島加津也 福島加津也＋富永祥子建築設計事務所・代表

設計協力 早稲田大学旧本庄商業銀行煉瓦倉庫保存・活用プロジェクト

構造設計 新谷真人 (株)オーク構造設計・取締役

山田俊亮 安田女子大学・助教

研究調査 中谷礼仁 早稲田大学・教授

本橋仁 京都国立近代美術館・特定研究員

施行者 清水建設(株)



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Sustainable
Development
Goals

UNESCO Bangkok Office
Asia and Pacific Regional Bureau for Education

Winners announced for the 2018 UNESCO Asia-Pacific Awards for Cultural Heritage Conservation

*Shijo-cho Ofune-hoko Float Machiya of Kyoto, Japan, wins Award of Excellence;
projects in Australia, China, India, Japan and Thailand also honoured*

BANGKOK, 9 November 2018 — The renewal of the early 20th-century Shijo-cho Ofune-hoko Float Machiya has received the Award of Excellence in this year's UNESCO Asia-Pacific Awards for Cultural Heritage Conservation. Ten projects from five countries – Australia, China, India, Japan and Thailand – have been recognized by an international Jury of conservation experts in this year's Awards. The Jury met in August in Penang, Malaysia to review 41 entries from eight countries across the Asia-Pacific region.

The Jury praised the Award of Excellence winner, the Shijo-cho Ofune-hoko Float Machiya, for “celebrating Kyoto culture through the safeguarding of the city's endangered wooden townhouse typology as well as the iconic annual Gion Festival. The meticulously restored building today houses the Ofune-hoko float, itself resurrected after a 150-year hiatus to regain its place of pride in the annual ritual parade. The project sets a model for its seamless approach to safeguarding built heritage intertwined with intangible cultural heritage in a mutually enriching way.”

Other Awardees include:

Award of Distinction

- **The LAMO Center**, Ladakh, India

Award of Merit

- **5 Martin Place**, Sydney, Australia
- **Aijing Zhuang**, Fujian, China
- **Commercial Bank of Honjo Warehouse**, Saitama, Japan

Honourable Mention

- **Hengdaohezi Town**, Heilongjiang, China
- **Rajabai Clock Tower & University of Mumbai Library Building**, Mumbai, India
- **Ruttonsee Muljee Jetha Fountain**, Mumbai, India

New Design in Heritage Contexts

- **Kaomai Estate 1955**, Chiang Mai, Thailand
- **The Harts Mill**, Port Adelaide, Australia

The UNESCO Asia-Pacific Awards for Cultural Heritage Conservation programme recognizes the efforts of private individuals and organizations that have successfully conserved structures and buildings of heritage value in the region. The Awards aim to encourage other property owners to undertake conservation projects within their communities, either independently or by seeking public-private partnerships. Awarded projects reflect a clear understanding and application of various criteria, such as the understanding of the place, technical achievement, and the project's social and policy impact.

‘Ever since the Awards programme was established in 2000, we have witnessed major strides in cultural heritage conservation over the past twenty years,’ said Dr Duong Bich Hanh, Chair of the Jury and Chief of UNESCO Bangkok's Culture Unit. ‘This year's projects show the heightened level of public awareness, policy support and private sector investment in an ever-widening range of heritage typologies. It is notable how the 2018 Awards winners showcase the increasing recognition of industrial heritage in the Asia-Pacific region.’

The upcoming year 2019 marks the 20th anniversary of the Awards, with a regional event planned in Penang, Malaysia, where the Awards programme was originally launched. It will provide a platform to reflect on the past two decades of the Awards and the larger realm of heritage in the Asia-Pacific region, as well as to engage in a strategic forward-looking dialogue on the role and contribution of cultural heritage more broadly. Past winners, Jury members, heritage conservation professionals, academics, and private and public partners will be invited. Interest individuals are requested to communicate with UNESCO Bangkok via contacts shared below.

The event will be organized in collaboration with Malaysia's urban regeneration organization Think City. UNESCO Bangkok and Think City have signed a three-year partnership spanning 2018 to 2020 in order to promote outstanding practices in cultural heritage preservation in Asia and the Pacific. Information about Think City and their broad range of work can be found at: www.thinkcity.com.my

For further information about the UNESCO Asia-Pacific Awards for Cultural Heritage Conservation and upcoming events, please see: <https://bangkok.unesco.org/theme/asia-pacific-heritage-awards>

Call for Entries for the 2019 UNESCO Awards will be made at the end of 2018, and further details will be available on the awards website.

Photo Albums:
<ul style="list-style-type: none">• High-resolution images of 2018 award recipients are available here: https://goo.gl/L7PTfV

.....

For Awards-related inquiries, please contact:

Heritage Awards
Culture Unit
UNESCO Bangkok

Tel.: (66 2) 391-5077 Ext. 511
Fax.: (66 2) 391-0866
Email: heritageawards@unesco.org

Media contact:

Jeremy Clay Walden-Schertz
Media Officer
UNESCO Bangkok

Tel.: (66 2) 391-0577 Ext. 347
Fax: (66 2) 391-0866
Email: jc.schertz@unesco.org

UNESCO
Asia-Pacific Awards for
*Cultural Heritage
Conservation*

2018

Winners' Project Profile

Award of Excellence

Project name:

Location:

Shijo-cho Ofune-hoko Float Machiya

Kyoto, Japan



The renewal of this early 20th-century *machiya* celebrates Kyoto culture through the safeguarding of the city's endangered wooden townhouse typology as well as the iconic annual Gion Festival. The meticulously restored building today houses the Ofune-hoko float, itself resurrected after a 150-year hiatus to regain its place of pride in the annual ritual parade. Through careful documentation and a light-handed approach to conservation, the project has transformed a residence to serve a meaningful communal function in a manner that has enhanced the ethos of the historic building. Undertaken by master carpenters in collaboration with conservation experts, the artful conservation work showcases innovation within a traditional architectural context. The project sets a model for its seamless approach to safeguarding built heritage intertwined with intangible cultural heritage in a mutually enriching way.

Award of Distinction

Project name:

Location:

The LAMO Center

Ladakh, India



The recovery of an aristocratic house from a state of partial ruin establishes an important precedent for conserving the non-monumental urban fabric of Leh Old Town. Informed by detailed research and investigation, the systematic restoration project used salvaged and local building materials, and indigenous construction techniques while adroitly introducing modern amenities to assure its ongoing use. A dynamic programme of arts activities enlivens its space for the benefit of both local residents and visitors. Strategically located at the foot of the Leh palace, the restored structure contributes significantly to the continuity of the historic townscape dating back to the 17th century.

Award of Merit

Project name:

Location:

5 Martin Place

Sydney, Australia



The iconic Commonwealth Bank building has been revitalized as a premier commercial property while retaining its historic fabric and character. Anchoring Martin Place, the building effectively maintains its connection to the street and its urban context. The quality of the interior spaces and period detailing were carefully retained, notably with the use of a thoughtfully designed cantilever strategy to introduce a major new building addition. The project adds a new milestone to the evolving history of the property, reinvigorating it for the 21st century.

Project name:

Location:

Aijing Zhuang

Fujian, China



The conservation of Aijing Zhuang residential complex demonstrates a sensitive approach to sustaining a rural settlement as a living place in harmony with its natural setting. The rigorous seven-year conservation process was initiated by clan members with the collective support of scholars, local craftspeople and the local government. With a commendable sense of restraint, the project has safeguarded the authentic character of the vernacular housing, defensive structures and waterways that are emblematic of this site, providing a model for other historic villages across China.

Project name:

Location:

Commercial Bank of Honjo Warehouse

Saitama, Japan



The restoration of the former warehouse of the Commercial Bank of Honjo has recovered a significant brick masonry landmark and opened it up for public use through seismic retrofitting and modernization of building services. The project is to be praised for its systematic conservation methodology based on thorough research. In giving new life to a building related to the once prosperous silk business in the area, the project serves as a notable example for interpreting local industrial and commercial heritage.

Honourable Mention

Project name:

Location:

Hengdaohezi Town

Heilongjiang, China



The successful preservation of the 19th-century railway town of Hengdaozi in north China is notable for its holistic approach, encompassing the heritage buildings, infrastructure, and related public spaces. Demonstrating a sound understanding of both locality and function, the project reinstates and sustains the spirit of place of the historic urban industrial landscape. The conservation work was carried out in a restrained manner, respecting the historic patina and functional character of the buildings and their setting.

Project name:

Rajabai Clock Tower & University of Mumbai Library Building

Location:

Mumbai, India



The recent renewal of the University of Mumbai's Rajabai Clock Tower and Library opens up a new chapter for one of the city's significant neo-Gothic landmarks. A comprehensive programme of restoration arrested decay and stabilized the brick masonry, interior timber structure, and extensive decorative works. The project was well thought through and the quality of conservation reflects a competent hand, employing local craftsmanship and materials that sustain the authenticity of the historic fabric.

Project name:

Ruttonsee Muljee Jetha Fountain

Location:

Mumbai, India



The restoration of the Ruttonsee Muljee Jetha Fountain has reinstated an Indo-Saracenic landmark in the heart of Mumbai. The project has revived both the functional and aesthetic qualities of the monument through careful water engineering, stone repair, and tasteful historically-accurate landscaping. Undertaken in partnership with the municipal authorities as part of a larger on-going programme of civic works, the conservation of the fountain contributes meaningfully to enhancing the public sphere of the historic district.

Award for New Design in Heritage Contexts

Project name:

Location:

Kaomai Estate 1955

Chiang Mai, Thailand



Kaomai Estate 1955 is an inspired model for rescuing and repurposing an overlooked and disappearing industrial typology by combining a commitment to conservation with a contemporary design aesthetic. New architectural interventions in steel and glass provide a counterpoint to the historic built fabric that spans different eras, including wattle and daub, brick masonry, and concrete block. The reactivation of the abandoned tobacco-processing barns adds a layer of meaning to the hotel complex, providing a nostalgic evocation of the local history and agrarian heritage associated with Chiang Mai's once-thriving tobacco industry.

Project name:

Location:

The Hart's Mill

Port Adelaide, Australia



The remarkable transformation of the former flour-milling complex and wharf into a lively series of public spaces revitalizes a derelict post-industrial waterfront area for present-day use. The three interconnected interventions have rejuvenated both the buildings and the surrounding area through a successful urban place-making strategy, using contemporary art to reference historical function. Resulting from an extensive consultation and engagement programme, the development of trails, play areas and event spaces has created a major urban amenity for the city of Adelaide.

第12回塙保己一賞表彰式の開催について

本庄市が生んだ偉人「塙保己一」のように、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている人や、障害者を献身的に支援している人を表彰する「第12回塙保己一賞」の表彰式を開催します。

なお、表彰式に引き続き、第11回塙保己一賞奨励賞受賞者澤村祐司氏他による記念コンサートを行います。

日 時 平成30年12月15日（土）
13時～15時30分（開場12時30分）

会 場 児玉文化会館「セルディ」ホール

内 容 ○表彰式 13時～14時
受賞者（別紙埼玉県報道発表資料）
○記念コンサート 14時20分～15時30分
出演者 澤村 祐司氏（箏・三絃）
中村 裕美氏（ピアノ）
見澤 太基氏（尺八）



澤村祐司氏

入場料 無料

定 員 400人（申込み不要）

その他 ○手話通訳と要約筆記が配置されます
○臨時送迎バス（無料）の運行
JR各駅（本庄駅南口・本庄早稲田駅北口・児玉駅）から臨時送迎バスを運行。
電車の到着に合わせ、11時30分から12時30分まで、おおむね30分間隔で運行。
○開館時間の延長
当日は、「塙保己一記念館」の開館時間を17時30分まで延長します。
記念コンサート終了後ぜひ、お立ち寄りください。
(本庄駅、本庄早稲田駅行きの帰りの送迎バスは、記念館を經由します。)

主 催 埼玉県福祉部障害者福祉推進課 「塙保己一賞」係
電話：048（830）3309

○添付資料

- (1) 受賞者略歴（埼玉県報道発表資料より）
- (2) 開催パンフレット

問合せ先

- 本件記事に関すること 教育委員会生涯学習課 文化会館係 担当：前川
電話 0495（72）8851
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽
電話 0495（25）1155

11月15日付 埼玉県報道発表資料より抜粋

部局名：埼玉県福祉部

課所名：障害者福祉推進課

電話：048(830)3309

「第12回塙保己一賞」受賞者

(年齢は平成30年4月1日現在)

今回初めて、聴覚障害者の方が大賞を受賞されます。

■大賞 高田 英一（たかだ・えいいち）氏（81歳）

聴覚障害。現在、世界ろう連盟名誉理事、一般財団法人全日本ろうあ連盟参与、社会福祉法人全国手話研修センター日本手話研究所所長、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会理事長、認定特定非営利活動法人障害者放送通信機構理事長などを務める。

8歳の時に失聴。ろう学校高等部から当時としては初めて大学に進学。(立命館大学)卒業後、聴覚障害者では初めて地方公務員試験に合格し、京都市役所に入職。

昭和39年に財団法人全日本聾啞ろうあ連盟(現：一般財団法人全日本ろうあ連盟)議長に就任以来、14期42年に渡り要職を歴任し、平成18年からは参与に就任。

平成3年7月、アジアで初めての「第11回世界ろう者会議」日本開催に尽力し、会議後、アジアから初めて世界ろう連盟(WFD)理事に選出される。

JICAの委託による「ろう者指導者研修事業」の実施やアジア地域の貧しい聴覚障害児の教育援助を目的とした「アジアろう者友好基金」設立にも尽力。

平成9年厚生大臣表彰(更正援護功労者)他、平成10年トーマス・マイナー・ギャローテッド賞受賞、平成12年糸賀一雄記念賞受賞、平成21年旭日小綬章受賞など、顕著な賞を数多く受賞している。

■奨励賞 大胡田 誠（おおごだ・まこと）氏（40歳）

視覚障害。現在、弁護士として活躍。

12歳で失明。慶応大学法学部、同法科大学院に進学し、平成18年に全盲では日本で3人目の司法試験に合格。一方で、社会活動にも力を入れ、平成26年から平成30年まで社会福祉法人日本盲人会連合の青年協議会会長、公益財団法人東京都盲人福祉協会青年部部会長を歴任。

本人著書「全盲の僕が弁護士になった理由」は、2014年テレビドラマ化された。

■貢献賞 公益財団法人日本盲導犬協会

視覚障害者の自立と社会参加を推進するために、盲導犬の育成・訓練、視覚障害者リハビリテーション事業などを展開している。

昭和42年に日本で初めて厚生省（当時）の認可を受け、設立された盲導犬育成団体。全国に4カ所の訓練センターを有し、昨年度創立50周年を迎えた。

身体障害者補助犬法や障害者差別解消法の啓発から、企業や医療機関向けの盲導犬受け入れセミナーも行っている。

全国の小中学校を訪問し、子どもたちへ盲導犬や視覚障害への理解をはかる「盲導犬小中学校キャラバン」を開催している。（平成29年度実績331回）

平成30年第52回吉川英治文化賞受賞。

【参考：埴保己一賞の概要】

いずれの賞も、視覚障害者に限らず全ての障害のある方を対象にしております。

■大賞（対象者：障害者本人）

日本国内に在住し活動する方で、障害がありながらも埴保己一のように不屈の精神力により社会的に顕著な活躍をしてきた方。

■奨励賞（対象者：障害者本人）

日本国内に在住し活動する方で、障害がありながらも努力を重ねており、今後さらに社会的な活躍が期待される45歳未満（平成30年4月1日現在）の方。

■貢献賞（対象者：障害者の支援者、貢献者 ※障害の有無は問いません）

日本国内に在住し活動する次のような個人又は団体。

ア 社会的に顕著な活躍をされている障害者の活動の支援等を行ってきた方

イ 障害者の自立・社会参加の拡大につながる顕著な発明や機器開発等を行った方

第十二回

はなわ 塙保己一賞 表彰式・記念コンサート

平成30年12月15日(土) 開場12時30分

会場 本庄市児玉文化会館(セルデイ)ホール

表彰式 13時〜14時

記念コンサート 14時20分〜15時30分

入場料 無料(事前申込み不要 定員400名)
どなたでもお越しいただけます

※当日は無料送迎バスあり
※お帰りのバスの一部は、塙保己一記念館を経由します
※手話通訳・要約筆記あり

障害がありながらも不屈の努力を続けて顕著な活躍をしている方や、障害者のために様々な貢献をしている方にお贈りする「塙保己一賞」。

表彰式とあわせて、視覚障害がありながらも箏・三絃演奏家として活躍されている澤村祐司さんらによる記念コンサートを開催します。

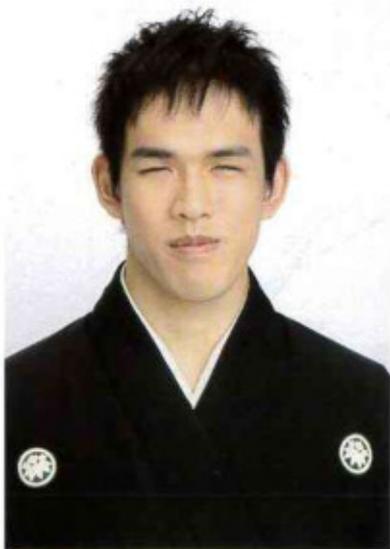
出演：箏・三絃演奏家

さわむら ゆうじ
澤村 祐司

曲名(予定)：

- ・春の海
- ・たれかおもはむ 他

※変更する場合があります。ご了承ください。



問合せ先

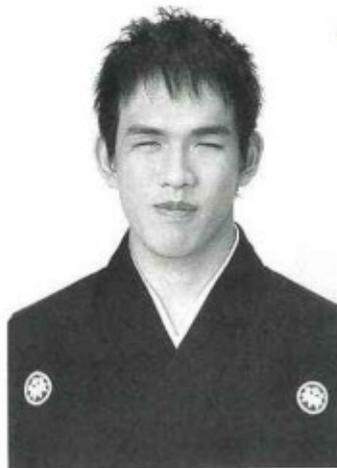
埼玉県福祉部障害者福祉推進課 「塙保己一賞」係
電話：048-830-3309 FAX：048-830-4789
E-MAIL：a3310-06@pref.saitama.lg.jp
ホームページ：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/hanawa/



主催 埼玉県
共催 本庄市 / 埼玉県教育委員会
後援 厚生労働省 / 文部科学省 / 公益社団法人温故学会 / 社会福祉法人全国社会福祉協議会 / 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会 / 社会福祉法人日本盲人会連合 / 社会福祉法人東京ハレン / クラール協会 / 社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 / 特定非営利活動法人埼玉県障害者協議会

第12回 塙保己一賞記念コンサート

さわむら ゆうじ 澤村 祐司：箏



宮城社大師範 金津千重子に師事。東京藝術大学を経て同大学院修了。
[第2回 八橋検校日本音楽コンクール]八橋検校賞。
一般財団法人地域創造「平成 22 年度邦楽地域活性化事業」参加。
平成 27 年初のリサイタル開催。
朗読ミュージカル「山崎陽子の世界」にて物語の音楽、熊本県立松橋西支援学校の校歌作曲などを手がける。
箏曲宮城社師範、重音会、森の会会員。
筑波大学附属視覚特別支援学校、明治大学三曲研究部非常勤講師。
(株)セールスフォース・ドットコム所属アーティスト。
詩と音楽の VOICE SPACE 代表。
第 11 回塙保己一賞奨励賞受賞。

なかむら ゆみ 中村 裕美：ピアノ

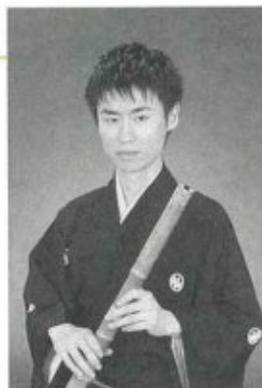
埼玉県立大宮光陵高校音楽科ピアノ専攻卒業。東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。
2004年韓国芸術総合学校(KNUA)での「NONGProject 2004」にて室内楽曲が演奏される。2006年、奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門中田喜直賞の部入選。



2018年、ボーカリスト久保田彩佳、チェリスト富樫亜紀とアコースティックユニット「Sapir」を結成し首都圏でライブ活動中。
詩と音楽のパフォーマンス集団「VOICE SPACE」メンバー。

みさわ たいき 見澤 太基：尺八

北海道札幌市出身。
尺八を菅原久仁義に師事。
東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。
同大学にて徳丸十盟、青木彰時、田中康盟の各氏に師事。
これまでに東京国立博物館における「光彩時空」、篠井英介主演の舞台「サロメ」での演奏、「さらい屋五葉」(フジテレビ)の音楽等に参加。
熊本県立劇場、いわき芸術文化交流館アリオスのアウトリーチ事業に参加し学校公演やガラコンサートに出演。
これまでに、ソプラニスタ木村優一と「尺八×ソプラニスタ」、「みさわたいき尺八コンサートシリーズ」等を開催。



会場 本庄市児玉文化会館(セルディ)ホール 定員400名

住所：埼玉県本庄市児玉町金屋728-2 電話：0495-72-8851

交通手段 (電車) JR高崎線 本庄駅からタクシー 20分
JR上越新幹線 本庄早稲田駅からタクシー 15分
JR八高線 児玉駅からタクシー 5分

当日は本庄駅、本庄早稲田駅、児玉駅から臨時送迎バス(無料)あり
(車) 関越自動車道 本庄児玉ICから15分



埼玉県のマスコット
「さいたまっちゃん」

お問い合わせ先 埼玉県福祉部障害者福祉推進課 「塙保己一賞」係

電話：048-830-3309 FAX：048-830-4789 E-MAIL：a3310-06@pref.saitama.lg.jp

ホームページ：https://www.pref.saitama.lg.jp/a0604/hanawa/

塙保己一賞

検索

※第12回の受賞者は11月中旬に発表する予定です。

これは音声コードといい、専用の読取機を利用して音声で内容を聞くことができます。→



第23回本庄早稲田の杜

クロスカントリー&ハーフマラソン大会の開催について

本庄市最大のスポーツイベント、本庄市体育協会主催「第23回本庄早稲田の杜クロスカントリー&ハーフマラソン大会」の受付を平成30年12月1日(土)から開始します。

全国から大勢の皆さまにご参加いただいているこの大会は、今年もふるさと納税の体験型返礼品として協力をお願いしております。

森林浴ランを楽しめる12km「本庄早稲田の杜クロスカントリーコース」と桜の中を走るハーフマラソン「こだま千本桜コース」の魅力ある2つのコースを用意。

親子でも楽しめるよう、お子さんと一緒に1.5kmを走った後、12kmやハーフマラソンに参加できるスケジュールです。

日 時：平成31年4月14日(日)

開 会 式：午前8時10分～

スタート：午前9時00分～(順次)

コ ー ス：ケイアイスタジアム（本庄総合公園市民球場）をスタートし、大久保山（本庄早稲田の杜）や小山川遊歩道を利用した特設コース

種 目：◎こだま千本桜コースハーフマラソン

◎本庄早稲田の杜クロカンコース12km

◎本庄早稲田の杜ロードコース6km

◎本庄総合公園内ジョギングコース1.5km

申込方法：インターネットまたは専用振替用紙

ふるさと納税枠での受付も実施！

申込期間：平成30年12月1日～平成31年2月3日

※専用振替用紙は平成31年1月25日まで（当日消印有効）

○添付資料 第23回本庄早稲田の杜クロスカントリー&ハーフマラソン大会(チラシ)

問合せ先

○本件記事に関すること 教育委員会事務局 体育課 スポーツ推進係 担当：内田

電話 0495(25)1152

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽

電話 0495(25)1155

市民一人 1スポーツ



THE 23rd
HONJO WASEDA NO MORI
CROSS-COUNTRY
HALF MARATHON
2019 4.14



2019
4.14(日)

第23回 本庄早稲田の杜 クロスカントリー&ハーフマラソン大会

●ハーフマラソン(こだま千本桜コース) ●12km●6km(本庄早稲田の杜クロカン・ロードコース) ●1.5km(本庄総合公園内ジョギングコース)

申し込み開始 2018年12月1日(土)



<http://www.sportsnet.or.jp/~hono/>

<https://www.facebook.com/honjowaseda/>

埼玉マラソングランドスラム



<http://www.saitama-marathon.com/>

- 主催 本庄市体育協会
 主管 本庄早稲田の杜クロスカントリー&ハーフマラソン大会実行委員会・本庄市陸上競技協会
 後援 本庄市、本庄市教育委員会、本庄市レクリエーション協会、本庄市スポーツ少年団
 特別協賛 ケイアイスター不動産(株) 高橋ソース(株) (株)シェリエ[上里カンターレ]
 クリクラ(株)ナック OKI 埼玉ひびきの農業協同組合
 (株)グローバルソフトウェア 埼玉北部ヤクルト販売(株) (株)カインズ

第23回 本庄早稲田の社 クロスカントリー &ハーフマラソン大会

2019年4月14日(日)【雨天決行】【開会式】AM8:10~

本庄総合公園内スタート・フィニッシュの本庄早稲田の社、小山川遊歩道を利用した特設コース

POINT1 クロカンの森林浴ランとハーフのお花見ラン!

POINT2 家族ラン+本気ランで2倍の楽しみ

POINT3 最多参加チームに団体賞!

POINT4 ナンバーカードを事前送付



参加資格

- (1)各部門の用意に該当しており、健康に自信のある方
- (2)競技規則・申込規約に同意される方で、制限時間内に走れる方
- (3)20歳未満の参加者は、保護者の承諾を得ている方
- (4)車椅子の方はコース幅・形状等の都合により参加をご遠慮いたしております。
- (5)視覚障がい、知的障がいのある方は、伴走者同伴で参加可能です。

競技規則

- (1)日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規則により実施します。
- (2)記録計測及び審判判定は、「自動記録システム」を使用し、全完走者をクロスタイムにより計測します。ナンバーカード(記録計測用タグ付)は必ず胸に取り付けてください【参考記録として、全種目ネットタイムも計測します。】
- (3)競技者は、原則道路の左側を走行してください。
- (4)靴子ベアの部は、手をつないでフィニッシュしてください。

表彰・参加賞

- (1)各部門1位~6位(靴子ベア、オープンの部除く)
※完走者全員に完走証を即日発行します。
- (2)特別賞(1.5km除く)
 - ①進歩賞(開業以外からの参加者)
 - ②高齢者賞(大会当日70歳以上の参加者)
 - ③団体賞(同一所属で最多人数のチーム)
- (3)参加賞
 - ①Tシャツ(1.5km除く)
 - ②ミニタオル(1.5km)

参加案内

お申込みいただいた方には3月下旬に発送予定です。

注意事項

- (1)コースは道幅が狭く、未舗装の部分等がありますので十分注意してください。
- (2)各種目ともスタート前に集合待ちとなります。遅刻は失格となります。
- (3)夜間での参加は許可していませんが、他のランナーの走行の邪魔にならない服装で参加してください。
- (4)ヘッドフォン等は、事故につながる可能性がありますので、使用はご遠慮ください。
- (5)自己の責任において健康管理し、あらかじめ医師の診断を受け万全の体調でご参加ください。大会当日に体調の悪い方は絶対に無理をしないでください。
- (6)レース中、気象状況等によりランナーを停止させ、車道等の走行を優先させる措置をとる場合があります。この措置による記録の修正等はいたしません。
- (7)コース内で災害・重大事故等の緊急事態が発生した場合、競技は打ち切るものとします。
- (8)貴重品は、各自の責任において管理し、体育館内のコインロッカーや荷物預かり所をご利用ください。

競技種目・スタート時間・部門・定員・参加費

種目・スタート時間	部門	コード	参加費	定員
1.5km ジョギングコース 9:00(スタート順)	小学生男子4年~6年	01	小学生、 靴子ベア(1組)、 オープン 各1,000円	500人
	小学生女子4年~6年	02		
	オープン(中学生以上) ※表彰なし	03		
1.5km ジョギングコース 9:05(スタート順)	小学生男子1年~3年	04	小学生、 靴子ベア(中学生以上) ※表彰なし オープン(中学生以上) ※表彰なし	500人
	小学生女子1年~3年	05		
	オープン(中学生以上) ※表彰なし	07		
6km 本庄早稲田の社ロードコース 9:15(スタート順) 制限時間50分	中学生男子	08	中学生:2,000円 一般:3,000円	400人
	一般男子(高校生~39歳)	09		
	一般男子(40歳~49歳)	10		
	一般男子(50歳~59歳)	11		
	一般男子(60歳以上)	12		
	中学生女子	13		
21.0975kmハーフ こだま千本桜コース 10:05(スタート順) 制限時間180分	一般男子(高校生~39歳)	17	高校生:2,000円 一般:3,500円	1,300人
	一般男子(40歳~49歳)	18		
	一般男子(50歳~59歳)	19		
	一般男子(60歳以上)	20		
	一般女子(高校生~39歳)	21		
	一般女子(40歳~49歳)	22		
12km 本庄早稲田の社クロカントリーコース 10:35(スタート順) 制限時間120分	一般男子(高校生~39歳)	24	高校生:2,000円 一般:3,500円	600人
	一般男子(40歳~49歳)	25		
	一般男子(50歳~59歳)	26		
	一般男子(60歳以上)	27		
	一般女子(高校生~39歳)	28		
	一般女子(40歳~49歳)	29		
一般女子(50歳以上)	30			
定員合計				2,800人

※スタート時間及び部門は都合により変更する場合があります。
※年齢及び学年は、登録日を判断基準とします。
※ハーフマラソンに申し込みは、ゴール予想タイム(A:90分以内:B:120分以内:C:180分以内)をご記入ください。
※記入の場合はCとします。

会場案内図



交通案内

- JR 高崎線本庄駅南口より無料送迎バス(大会当日のみ)で10分
- 上越新幹線本庄早稲田駅より徒歩25分
- 高崎自動車道本庄早稲田ICより10分
- 駐車場には限りがありますので公共交通機関をご利用ください。
- 上越新幹線本庄早稲田駅からは無料送迎バスは出ませんので徒歩でお越しください。

申込規約

1. 本大会は下記の申込規約に同意の上、お申し込みください。
2. 自己責任による参加の同意書、サインを必ずおこなってください。また、参加申し込みの時点で、本大会の参加規約に同意し、大会当日は必ず参加の意思があることをご承諾ください。
3. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
4. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
5. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
6. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
7. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
8. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
9. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
10. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
11. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
12. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
13. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
14. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
15. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
16. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
17. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
18. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
19. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。
20. 本大会は、雨天・曇天・暴風・大雪・凍結等の天候により中止・延期・変更する場合があります。中止・延期・変更については、本大会事務局からご連絡いたします。

申込詳細 申込期間2018年12月1日~2019年2月3日

インターネット 申込締切日 2019年2月3日
ランネットHP <http://runnet.jp/>

エントリー手数料4,000円まで205円4,001円以上支払総額の5.15% 支払方法は、お申込の際にお選びいただけます(クレジットカード・コンビニ払いなど)

②専用振替用紙 申込締切日 2019年1月25日消印有効
専用振替用紙に必要事項を記入のうえ、ゆうちょ銀行または郵便局窓口でお申し込みください。確認用にコピーを大会まで保管されることをおすすめします。
※払込手数料:130円(窓口)

●振替用紙ご請求先・エントリーに関する問い合わせ先
本庄早稲田の社クロスカントリー&ハーフマラソン大会エントリー事務局
〒362-0073 埼玉県上尾市浅間台1-16-3 友光第7ビル TEL: 048-778-5880
受付 月~金曜日 10:00~18:00(祝日・12/29~1/7除く) FAX: 048-778-5889

●大会に関する問い合わせ先
本庄早稲田の社クロスカントリー&ハーフマラソン大会事務局
〒367-8501 埼玉県本庄市本庄3-5-3 本庄市役所4F本庄市教育委員会 体育課内
受付 月~金曜日 8:30~17:15(祝日・12/28~1/3除く) TEL: 0495-25-1152
E-mail: taikku@city.honjo.lg.jp FAX: 0495-25-1193

個人情報取扱について
主催者は、個人情報の適正な取扱い、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、当該大会の案内、大会開催・協力・関係者団体からのサービスの提供、記録発表(ランキング)等に利用いたします。また、主催者もしくは協賛先からの申込内容に関するお問い合わせをさせていただきます。

神迎祭（しんげいさい）の開催について

神迎祭とは、旧暦の10月（神無月）に出雲大社へ集合していた神々を、旧暦の11月（霜月）の1日午前0時に神社でお迎えする行事です。昔より、出雲大社で縁結びの相談をされると言われており、心願成就を祈る人々で大変賑わいます。お神迎えとも言われています。帰途、縁起物の熊手等を買って新しい年の開運繁栄を祈る行事です。



- 行事名：神迎祭（しんげいさい）
- 日 時：12月7日（金）（午前0時）【旧暦11月1日】
※12月6日（木）深夜から7日（金）早暁
- 主 催：金鑽神社
- 場 所：金鑽神社（本庄市千代田3-2-3）
- 交 通：JR高崎線 「本庄駅」下車 徒歩約15分
関越自動車道 「本庄児玉IC」より車約5分
- その他：トイレ：有
関連HP：<https://www.honjo-kanko.jp>

問合せ先

- 本件記事に関すること 本庄市観光協会本庄支部（本庄市商工観光課内 担当：山口）
電話：0495-25-1174
金鑽神社
電話：0495-22-3267
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽
電話 0495（25）1155

クリスマス・ディスプレイと クリスマスマルシェの開催について

本庄市は、全国有数のポインセチア生産地であり、栽培技術も全国トップレベルにあります。本庄市花の会では、例年、市内で生産された鉢物の普及拡大を目的として、市庁舎への「クリスマス・ディスプレイ」を実施し、今年で26回目となります。

今年度、初の試みとして、地元の野菜や花を広く知っていただくため、開催中の19日に本庄農業女子による「クリスマスマルシェ」を同時開催し、農産物の展示・販売を実施します。

【本庄市花の会 クリスマス・ディスプレイ】

展 示 期 間：12月12日（水）～ 21日（金）

午前8時30分～午後5時15分（最終日は午前11時まで）

即売会日時：12月21日（金）正午

場 所：本庄市役所 市民ホール（1階）

内 容：ポインセチアやゴールドクレストなどの飾り付け展示

【本庄農業女子プレゼント Xmasマルシェ】

日 時：12月19日（水）午前11時～午後2時

場 所：本庄市役所 市民ホール（1階）

内 容：地元の野菜や花の展示・販売

○添付資料

- （1）本庄市花の会によるクリスマス・ディスプレイ詳細
- （2）本庄農業女子によるクリスマスマルシェ詳細
- （3）開催ポスター

問合せ先

- 本件記事に関すること 経済環境部 農政課 農業振興係 担当：鈴木、阿部
電話 0495（25）1177
- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：鳥羽
電話 0495（25）1155

—今年で 26 回目—

ポインセチアとゴールドクレスト等の『クリスマス・ディスプレイ』

—本庄市花の会—



(H29年度クリスマス・ディスプレイの様子)

【目 的】

本庄市は、全国有数のポインセチア生産地であり、栽培技術も全国トップレベルにあります。本庄市花の会では、毎年、市内で生産されたポインセチアやゴールドクレストなどのコニファー類、その他鉢物を市役所市民ホールに飾り付け展示を行うことで、本庄産鉢物のPRを行うとともに、地元消費者の需要を引き出し、ブランド化の確立を目的としています。

【展示期間】 12月12日（水）～ 21日（金）午前8時30分～午後5時15分
（最終日は午前11時まで）

【即売会日時】 12月21日（金）正午
※ 完売次第、終了となります。
※ 売上金の一部を、本庄市社会福祉協議会に寄付しています。

【展示場所】 本庄市役所 市民ホール（1階）

【展示主催者】 本庄市花の会（会員15名、会長：金子 順治）
事務局：本庄市農政課（TEL：0495-25-1177）

—今年初企画—

本庄農業女子プレゼント 『Xmasマルシェ』

【目 的】

「本庄市花の会クリスマス・ディスプレイ」の開催期間中の一日をお借りして、本庄農業女子の初の試みとなる「クリスマスマルシェ」を開催します。地元の野菜や花をPRすることが目的で、ブロッコリー、ロマネスコ、大根、白菜、ねぎ、にんじん、キャベツ、マーガレットなどのたくさんの野菜や花を展示・販売します。

【本庄農業女子】

本庄市をはじめ、神川町、上里町等の児玉郡市で生産活動をされている女性農業者8名から成る団体です。地元の野菜や花などの農産物を、地元の皆さまに身近に感じてもらいたいとの思いから平成28年に設立しました。女性ならではの視点を活かし、地元のカフェや高校生との協力企画やイベント出店等を通じて広く活動しています。



<平成30年度の主な活動>

5/13「総合公園春まつり」
花き類を展示・販売。

7/1「初夏を食す」
地元カフェと協力し、地元野菜を使った農業女子御膳を提供。

7/28「六高祭」
地元高校生やカフェと協力し、地元野菜を使ったスイーツを提案。

12月「寄せ植え教室・収穫体験」
クリスマスの寄せ植え体験や収穫体験を実施予定。

など

【展示・販売日時】 12月19日（水）午前11時～午後2時

【展示・販売場所】 本庄市役所 市民ホール（1階）

【展示・販売主催者】 本庄農業女子（会員8名、代表：牧野 涼子）
本庄市農政課（Tel：0495-25-1177）

平成30年度 本庄市花の会

クリスマス・ディスプレイ

展示期間：12月12日(水)～21日(金)(土日除く) 8:30～17:15

最終日の展示は11時まで。展示終了後、鉢花を販売します。

即売会日時：21日(金)正午から

完売次第、終了となります。

場所：本庄市役所 1階市民ホール



今年もポインセチアやゴールドクレストなど、色鮮やかな鉢物を使ったクリスマス・ディスプレイを行います。今年で26回目になります。ぜひご来場ください。

本庄農業女子プレゼンツ

Xmas マルシェ

日時：12月19日(水)11:00～14:00

場所：本庄市役所 1階市民ホール



地元産でしか味わえないお野菜・色鮮やかなお花を沢山用意してお待ちしています。

心も体も温まる本庄農業女子X'masマルシェにぜひ遊びに来てください！

ブロッコリー・ロマネスコ・大根・白菜・ねぎ・にんじん・キャベツなど。マーガレットやビオラの寄せ植えも。

